

# 2017年6月3日 (土)

■ 開場 17:45  
■ 開始 18:00

会場：大田区消費者生活センター 大集会室  
大田区蒲田五丁目13番26-101号  
JR蒲田駅東口から徒歩5分  
(大田区役所前から川崎方向に約300メートル)

トークイベント&ワークショップ

■ 参加費 500円

# 知的障害者の 自立生活 なぜ必要？ どう実現する？

## 話題提供①

NPO法人グッドライフの実践から  
話題提供者：末永弘 [スエナガヒロシ] さん

## 話題提供②

NPO法人はちくりうすの実践から  
話題提供者：櫻原雅人  
[サクラハラ マサヒト] さん

知的障害者  
自立生活  
声明文  
Project

だれもが地域で  
暮らしていくために

# 地域での実践事例を基に、知的障害者の自立生活は「なぜ必要か？」 「どう実現するのか？」を話題提供者と参加者が一緒に考えていく相互学習イベントです

## プログラム：

◎『知的障害者の自立生活に関する声明文』の紹介 スライドトーク

◎話題提供① 実践事例より NPO法人グッドライフの実践から

話題提供者：末永弘【スエナガヒロシ】

1968年生。介護者（ヘルパー）、支援者、介護コーディネーター。17歳、ろうの障害当事者と出会う。20歳、大学を退めて自立障害者のヘルパーとして働く。23歳、「自立生活企画」の設立に関わる。以後、「自立生活センターグッドライフ」、「ピープルファーストはなしあおう会」（現ピープルファースト東京）、「ピープルファースト東久留米」等の設立に関わる。

◎話題提供② 実践事例より NPO法人はちくりうすの実践から

話題提供者：櫻原雅人【サクラハラマサヒト】

NPO法人はちくりうす管理者、理事。

19歳の時に重度の自閉症男性との出会いから地域でともに生きるということをテーマに1986年マジカルハウス柿のたねを立上げ2005年にはちくりうすを設立。

きっかけとなった男性は1996年からシェアハウスという形で自立生活を継続中。

## ◎グループワーク

声明文、話題提供者からの話題提供を基に、参加者でのグループワークを行います。感想、疑問、提案等をグループ毎にシェアして、全体共有をしていきます。

ファシリテーター：楠目昌弘【クスメマサヒロ】

障害平等研修（DET）理事・ファシリテーター。

サラリーマンを経てシステムエンジニアとして活動していた8年前、病気を発症して車イスの生活に。2015年よりファシリテーターとして活動。

〒144-0052

東京都大田区東矢口3丁目31-8

HASUNUMA-BASE内

特定非営利活動法人風雷社中内（担当 中村和利）



[jirituseimei@gmail.com](mailto:jirituseimei@gmail.com)



070(5572)7004

問い合わせ